

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

地域密着と健全経営を掲げ、地域社会の皆さまの豊かな生活づくりに奉仕する

有人店舗数
72カ店出張所数
31カ所無人店舗数
61カ所新規コンサルティング
224件

② 中長期の経営戦略

1. デジタル・DX推進

さぎんアプリの機能向上、デジタルプラットフォーム構築により、お客さまとの接点充実と地域経済のデジタル化・生産性向上を推進

3. 事業性評価とコンサルティング

9つのブロック制営業態勢で事業承継・M&A、IT・DX、事業再生、販路拡大など金融・非金融サービスを強化

2. 上場支援サービス

J-アドバイザー、F-アドバイザー資格取得により、TPM・FPM上場を目指す地域企業への支援で地元経済の底上げを実現

4. サステナビリティ支援

SDGs取組支援・宣言サポートサービス、脱炭素経営支援、さぎんSDGsローン等により企業の持続的成長を支援

③ 対処すべき課題

① デジタル化への対応

- ・ 地域=地域銀行という絶対的基盤が揺らぐ中で、デジタルチャネル充実と強固なリレーション構築が急務
- ・ さぎんアプリ全機能完結を目指し、お客さま利便性の飛躍的向上を実現する必要がある

② 経営環境の変化への対応

- ・ マイナス金利解除による金利上昇局面で、預金集約の仕組みづくりが重要
- ・ 物価高騰の影響下で景気好循環実現に時間がかかる中、地域企業への支援強化が必要

③ 地域になくてはならない存在の実現

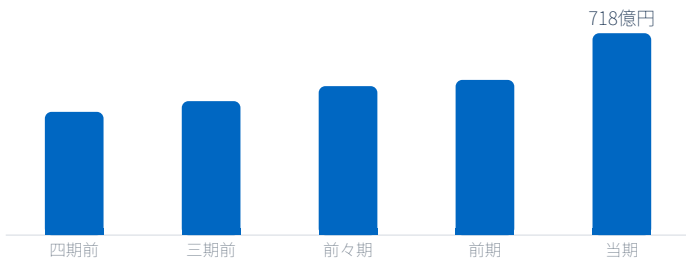
- ・ 金融を核としたグループ一体での地域貢献により、持続可能な地域社会実現に貢献する必要
- ・ コンサルティング機能強化とキャッシュレス推進で、新たな価値提供体制の構築が必須

面接で使えるポイント

- ・ 第18次中期経営計画で『総合サービス企業グループ』へ転換を目指し、金融を核とした地域貢献を強化する方針
- ・ J-アドバイザー・F-アドバイザー資格取得で銀行業唯一の上場支援体制を整備し、地域企業成長を支援
- ・ SAGAネットゼロ・コンソーシアム（2025年3月末34団体参加）で2050年カーボンニュートラル達成を目指す

証券コード 8395

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
718億円営業利益率
－（未開示）財務健康度
15点 / 100点要するに
佐賀県を本拠地とする普通銀行

主力事業・セグメント

- ・銀行 88.5%
- ・リース 10.9%
- ・CreditGuarantee 0.6%

強み・特徴（公開データから）

- ・平均勤続17.8年と定着率が高い
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 曇り / 就活偏差値 43.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
644万円

銀行業内 63位/78社

平均年齢
40.2歳

銀行業内 53位/78社

平均勤続
17.8年

銀行業内 30位/78社

女性管理職
13.3%

銀行業内 36位/57社

男性育休
96.9%

銀行業内 51位/55社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 野村證券株式会社が株式会社佐賀銀行<8395>株式の変更報告

